

# 環境教育だより

船橋市立高根台中学校  
令和5年6月1日  
3号

## <資源循環課による出張授業>

4月14日（金）に船橋市役所資源循環課が来校し、「私たちの生活はどうなるの？チャレンジゴミを減らそう」というテーマのもと、「なぜ、ゴミを減らす必要があるのか」、本校が実践している「牛乳パックリサイクル」が環境に対してどのような効果をもたらすのか等について話を聞きました。生徒は真剣に説明を聞き理解を深めました。



Q. ごみを減らす理由って？  
どんな効果がある？

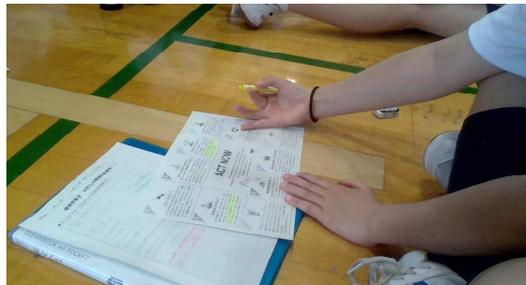
1. 焼却灰を減らせる
2. ごみ処理費用を減らせる
3. 温室効果ガス排出量を減らせる

資源循環課スライドより

## <「アースドクターふなばし」による出張授業>

5月26日（金）の5・6校時に1年生が地球温暖化防止を推進している「アースドクターふなばし」のみなさんから、温室効果ガスが地球温暖化にもたらす影響について授業をしてもうもらいました。

1年生は地球温暖化の進行には人間の活動が大きな影響を与えていることやペットボトルを使った実験をすることにより、地球が危機的に状況にあることなどについて学習し、地球温暖化は自分たちの生活を少し見直して実践すれば歯止めをかけられることに気づくことができました。ぜひ、1年生の保護者の皆さまには、どんな話し合いをしたのかご家庭で話題にしてもらえるとさらに学びが深まるのではないかと存じます。



## 【牛乳パックリサイクルの実績4月・5月】

集めた牛乳パックの量

**72.8**

キログラム

減らすことができた二酸化炭素量

**56.7**

キログラム

## <保護者の皆さまへ>

牛乳パックを開く時の注意事項です。ご確認ください。

- ・ ランチルームでは牛乳パックを開かない。
- ・ 牛乳パックを開くのは指定された手洗い場で行う。
- ・ 牛乳パックの中をゆすいでから開く。
- ・ 開くときに水滴等が飛び散らないように注意する。
- ・ 開いたあとに手を洗う。

以上の内容を掲示物にしたり、呼びかけをしたりしながら周知をしています。



**気候変動の問題って、遠い未来のことで自分には大きく、と感じる人が少なくないかもしれません。でも科学の声を聞けば、気候変動が人間の営みによって引き起こされ、「気候危機」のレベルで進行し、このまま進むと近い将来、取り返しのつかない深刻な影響が生じることが明らかです。**

人間の営みとは、今日を生きる私たちの選択と行動の積み重ねのこと。私たち一人ひとりの何気ない日々の暮らし方を変えることが、気候変動を止めることにつながります。

人々が行動を起こせば起こすほど、そのインパクトは大きくなります。なぜなら、私たちが取る対策が全体として積み重なり、温室効果ガスの排出量を減らすのだから。政府や企業のリーダーに対しては、人々が気候変動対策を求め、その実施を受け入れる用意があるというメッセージを送ることにあります。

個人の気候行動を呼びかける国連の「Act Now グローバルキャンペーン」から、私たちにできる10の行動を紹介します。

**ACT NOW** ってなに？

それは、温室効果ガスの排出量正味ゼロの社会をつくるために、私たち個人による気候変動対策をグローバルに呼びかける国連のキャンペーンです。

暮らし続けられる気候を保つためには、温室効果ガスの排出量を2030年までに半減させ、2050年までに正味ゼロとしなければなりません。各国政府や企業などには、大膽で迅速、そして広範囲に及ぶ対策を取ることが求められています。しかし、低炭素社会に移行するには、市民の参加、とりわけ先進国に暮らす人々の参加が不可欠です。

誰もが気候変動を止め、私たちの地球を守るためにできることがあります。環境に負荷を与えない選択をすることで、私たちは解決策の一部となり、変革を進めることができます。

いまずぐ動こう、  
気温上昇を止めるために。

**個人でできる  
10の行動**



**「1.5℃の約束」キャンペーン**

いまずぐ動こう。気温上昇を止めるために、

**1.5℃の約束**

国連広報センターは、国連の「SDGメディア・コンパクト」に加盟する日本のメディアに呼びかけ、2022年6月に共同キャンペーン「1.5℃の約束—いまずぐ動こう、気温上昇を止めるために。」を立ち上げました。パリ協定の目標である“世界の平均気温上昇を産業革命前と比べて1.5℃に抑える”ために、社会の仕組みの変革のために声を上げることがを含め、具体的な行動を示し、個人や組織の行動変容を促すことを参加メディアとともに目指します。

国連広報センター (UNIC)

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-70  
国連大学本部ビル 8階  
www.unic.or.jp

国連広報センター UNIC\_Tokyo  
unic\_tokyo UNIC Tokyo

国連広報センター

「私たちの生活様式と行動の変化を可能にするための正しい政策、インフラ、テクノロジーを導入することで、2050年までに温室効果ガス排出量を40-70%削減することができる。これは、まだ手が付けられていない領域で大きな可能性をもたらすものだ」

—気候変動に関する政府間パネル (IPCC) プリヤダルシ・シュクラ第3作業部会共同議長 2022年4月の報告書発表で

**1 家庭で節電する**

私たちが使用する電力や熱の大部分は、石炭や石油、ガスを燃料としています。冷暖房の使用を控え、LED電球や省エネタイプの電化製品に取り替え、冷水で洗濯し、乾燥機を使わずに干して乾燥させることで、エネルギー消費量を減らしましょう。

**2 徒歩や自転車移動する、または公共交通機関を利用する**

軽油やガソリンを燃焼させる自動車の代わりに徒歩や自転車で移動すれば、温室効果ガスの排出が削減され、健康と体力の増進に役立ちます。移動距離が長いときは列車やバスの利用を、自動車は相乗りを検討しましょう。

**3 野菜をもっと多く食べる**

野菜や果物、全粒穀物、豆類、ナッツ類、種子の摂取量を増やし、肉や乳製品を減らすと環境への影響を大幅に軽減できます。一般に、植物性食品の生産による温室効果ガスの排出はより少なく、必要エネルギーや土地、水の量も少なくなります。

**4 長距離の移動手段を考える**

飛行機は大量の化石燃料を燃やし、相当量の温室効果ガスを排出します。飛行機の利用を減らすことは、環境への影響を軽減する最も手取り早い方法の一つです。可能な限りオンラインで会ったり、列車を利用したり、長距離移動そのものをやめたりしましょう。

**ACT NOW**

誰もが気候変動を止めるためにできることがあります。移動手段から使用する電力、食べ物、そして声を上げることに至るまで、私たちは変化をもたらすことができます。

気候危機に立ち向かうために、ここにある10の行動から始めましょう。

**5 廃棄食品を減らす**

食料を廃棄すると、食料の生産、加工、梱包、輸送のために使った資源やエネルギーも無駄になります。また、生かして捨てた食品が腐敗すると、強力な温室効果ガスの一種であるメタンガスが発生します。購入した食品は使い切り、食べ残しはすべて埋めましょう。

**6 リデュース、リユース、リペア、リサイクル**

私たちが購入する電子機器や衣類などは、原材料の抽出から製品の製造、市場への輸送まで、生産の各時点で炭素を排出します。買物量を減らし、中古品を購入し、修理できるものは修理し、リサイクルして地球の気候を守りましょう。

**7 家庭のエネルギー源を替える**

電力会社に、自宅のエネルギー源が石油、石炭、ガスのどれなのか、また、風力や太陽光などの再生可能エネルギー源への切り替えができるのか確かめましょう。あるいは、自宅の屋根にソーラーパネルを設置して家庭で使用する電力を削減しましょう。

**8 電気自動車に乗り替える**

自動車を購入予定なら電気自動車を検討してください。より安価なモデルが数多く出ています。化石燃料から作られた電力で走行するにしても、電気自動車はガソリン車やディーゼル車より大気汚染の軽減に役立ち、温室効果ガスの排出量が大幅に削減されます。

**9 環境に配慮した製品を選ぶ**

あなたには、どんな商品やサービスを選択する力があります。環境に及ぼす影響を軽減するために、地元の食品や旬の食材を購入し、責任を持って資源を使ったり、温室効果ガス排出や廃棄物の削減に力を入れている企業の製品を選びましょう。

**10 声を上げる**

声を上げることが、変化をもたらす最も手取り早く最も効果的な方法の一つです。あなたの隣人や同僚、友人、家族と話してください。経営者には、あなたが大胆な変革を支持することを伝えましょう。地域や世界のリーダーたちに、今こそ行動を起こすように訴えましょう。

Illustration: Nicolo Canova